

【様式】

令和8年度 学校マネジメントシート

学校名 (尾鷲高等学校 定時制)

1 目指す姿

(1)目指す学校の姿		より豊かに社会生活を営むことができるよう、生徒一人ひとりの生きる力を高める学校
(2)	育みたい資質・能力 (育みたい生徒の姿) 【グラデュエーション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な学力を習得し、さらに自ら学び続けようとする生徒。 ・誰にでも、気持ちのよい挨拶ができる生徒。 ・規律を守ることができ、仕事をする上で必要なコミュニケーション能力が身についた自立した社会人。
	ありたい教職員の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・チームワーク良く、明るく風通しのよい職場環境で、充実して業務に取り組む教職員。 ・多様な生徒の一人ひとりに応じた適切な指導に取り組むことができる幅広い能力を持つ教職員

2 現状認識

(1)学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<p><生徒>卒業して進学や就職をしたい。</p> <p><保護者>卒業して進学や就職をしてほしい。学習指導と生徒指導を充実させてほしい。</p> <p><地域>将来地域で活躍する生徒を育成してほしい。</p>	
(2)連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待		連携する相手への要望・期待
	<中学校>生徒に生きる力を身に付けさせて社会に送り出してほしい。	<保護者>卒業して進学や就職をしてほしい。	<中学校>生徒の基礎学力定着と学習意欲向上を一層図ってほしい。
(3)前年度の学校関係者評価など		<進路先>挨拶ができ、コミュニケーション能力とやる気のある生徒に来てほしい。	<保護者>本校定時制の教育に一層の理解と協力をしてほしい。
			<進路先>定時制の生徒の進学や就職の機会をさらに増やしてほしい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・地域の多様な生徒を受け入れ、丁寧に指導していることをありがたく思っている。ぜひそれを今後も続けてほしい。 ・高校卒業を目指すだけでなく、卒業後のビジョンをもたせることは非常に重要である。進路指導を充実させ、将来的に地域を支える人材を育ててほしい。 ・授業や探究の時間を充実させ、生徒の心が前向きになるといいと思う。地域の教育資源の活用もしてほしい。 	
(4)現状と課題	教育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーション能力や学力面で課題を抱えた生徒が多い。これまで行ってきた基礎学力の定着に加え、社会を生き抜く力の育成も必要となる。安心できる「居場所」としての日常的な校内活動を継続しつつ、多くの人と接する経験ができる環境を整え、逆境や困難に対する回復力・適応力を身に付ける必要がある。 	
	学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・情報共有を密に行い、職員全員が共通理解をもって生徒や業務に対応できるようにする。 ・各自が自己の資質や能力の向上につながる教材研究や研修に励み、そこで得た知識を共有し、全体で利用していける仕組みを構築する。 	

3 中長期的な重点目標

教育活動 【カリキュラム・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活を営むうえで必要な①基礎学力を定着させる活動を推進する。 ②規範意識を確立させる活動を推進する。 ③社会性を身につけさせる活動を推進する。
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員が職務に邁進できるように、総勤務時間縮減に努める。 ・生徒と積極的にコミュニケーションをとり、複数の教職員が関わりながら、きめ細やかな教育相談や支援を行う。 ・教職員が一貫した指導を行えるよう、日頃から情報共有を心がけ、指導方法の確認を行う。 ・多様な生徒への適切な指導ができるように研修を行い、教職員の資質向上を目指す。

4 求める生徒像

入学時に期待される生徒の姿 【アドミッション・ポリシー】	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の授業を大切にする生徒。 ・目標に向かって、努力する生徒。 ・挨拶ができ、ルールを守って行動できる生徒。
---------------------------------	---

5 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例) 「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】 取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】 取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】 「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を定着させる。 ・生徒の学習意欲を高める授業を実施する。 <p>【活動指標】</p> <p>(1)教科・科目の学習において、基礎的内容を充実させる。 各教科の30%以上の授業時間を基礎的内容に充てる。</p> <p>(2)授業担当者は毎日1時間以上、教材研究、知識の取得に努める。</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートの「入学してから自分の学力が伸びていると思いますか」に対して「大いに伸びている」、「伸びている」と答える生徒が60%以上 ・履修した単位の修得率が100% 	年度末および適宜記載	

<p>規範意識の 確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登校時や授業の合間など日常的に生徒への声かけを積極的に 行い、生徒との信頼関係を深めながら、一人ひとりの学校生活の 充実を図る。 ・日頃から問題行動やいじめの未然防止に努めつつ、発生時 には迅速かつ組織的に対応する。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)登校指導を毎日行う。登校すべき日の80%以上、5名以上の 教員で登校指導を行う。 (2)いじめの未然防止と早期発見・対応に努め、きめ細かく 相談や支援を行う。いじめ防止の学習等を学期に1回以上 実施する。 (3)声かけや面談を日常的に行い、家庭と連携して改善に取 り組む。学期に5回以上個人面談を行う。 (4)交通安全やマナー向上、薬物乱用防止など、生活面を向 上させる学習や啓発を学期に2回以上実施する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケートの「学校は勉強しやすい環境になってい ますか」に対して「よい環境」「大変よい環境」と答える生徒が 60%以上 ・生徒アンケートの「先生は困ったときに頼りになりますか」 に対して「頼りになる」「たいへん頼りになる」と答える生徒が 60%以上 ・生徒アンケートの「本校での生活に満足していますか」 に対して「満足している」「たいへん満足している」と答える 生徒が50%以上 	<p>年度末および適宜記載</p>	<p>◎</p>
<p>社会性の育 成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人として必要な社会性を身につけさせる。 ・学校行事の充実と積極的な参加に努め、生徒の良好な人 間関係の醸成と高校生活の充実を図る。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)進路や就労に関する講和や学習を1回以上実施。 在学中の就労を奨励し、仕事と学校の両立を支援する。 (2)逆境や困難に対する回復力・適応力を向上させる。1学 期に対応した授業を5時間以上実施。 (3)環境や郷土、社会に対する関心を高める。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)卒業時の進路決定率(就職・進学)100% (2)在校生の就職・アルバイト経験80% (3)探究の時間やHR活動の中において、自己探求や環境等 に関する学習を12時間以上実施 	<p>年度末および適宜記載</p>	
改善課題			
<p>年度末に記載</p>			

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例) 「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重

点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
チームワーク向上と環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の状況や各自の仕事の進捗状況等についての情報共有を励行し、協力して仕事を進める。 総務業務時間縮減に努める。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日、勤務時間の始めに打合せを実施する。授業終了後の打ち合わせを週1回以上実施。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)時間外労働時間が月45時間・年360時間を超える教職員をのべ0人とする。 (2)職員会議の平均時間を45分以内とする。 	年度末および適宜記載	◎
教職員としての資質向上	<ul style="list-style-type: none"> 学び続ける教職員としての意識を高く持ち、研修や教材研究に積極的に取り組み、教職員としての資質・能力向上を図る。 <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修の参加を奨励し(年3回以上)、資料の回覧や情報提供を行う。得た知見の情報還元を学期に2回以上実施する。 <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員アンケートにより「知見が深まり有用であった」の割合が70%以上。 	年度末および適宜記載	
改善課題			
年度末に記載			

6 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	年度末に記載
---------------------	--------

7 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	年度末に記載
学校運営についての改善策	年度末に記載